

2023(令和5)年度

松山大学・カルスポ公開講座

「一般教養」

「地域の取り組みと学び直し」

受講案内



道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

主催

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、松山大学



〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目5番地
(松山市総合コミュニティセンター内)
TEL 089-921-8222
<https://www.cul-spo.or.jp/>



〒790-8578 松山市文京町4番地2
TEL 089-925-7111 (代表)
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>

学び舎えひめ 悠々大学

■受講されるみなさんへ

<教室のご案内>

松山大学樋又キャンパス 2階 H2A教室

*教室を変更する際は、前回の講義時、あるいは当日掲示にてお知らせします。

なお、当日教室の分からない方は、正門・西門・樋又キャンパスの守衛室へお問い合わせください。

<駐車場のご案内>

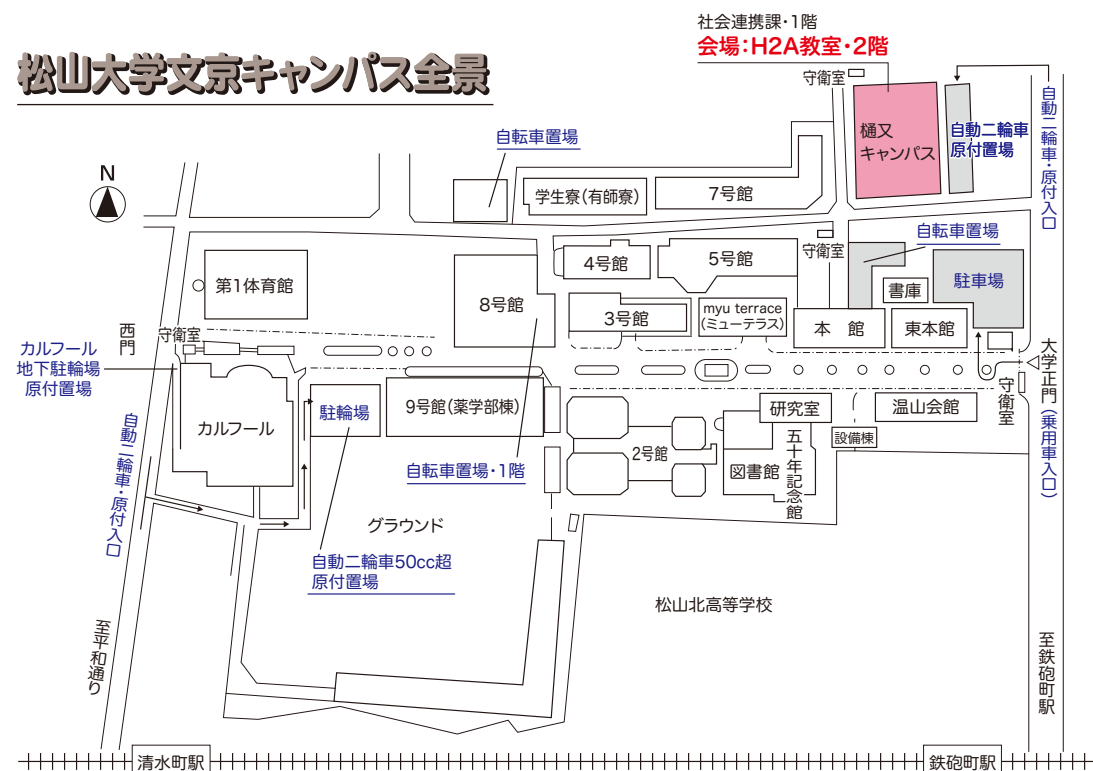
学内の駐車スペースには限りがあります。原則として公共交通機関をご利用ください。遠隔地、時間の関係で公共交通機関が利用できなくなる方、その他特別の事情がある方で、駐車を許可された方以外は学内に駐車できませんのであらかじめご了承ください。自転車・バイクをご利用の方は、所定の場所に駐輪してください。遵守できない方は乗り入れをお断りすることがあります。

*学内への駐車を希望される方は、第1回講義(9月6日)時に「自動車乗り入れ許可申請書」をご提出ください。許可者には「自動車乗り入れ許可証」を交付いたします。

<講義開始時間>

講義は午後6時30分から始まります。時間厳守でお願いします。

松山大学文京キャンパス全景



伊予鉄市内電車環状線「清水町駅」または「鉄砲町駅」下車徒歩5分

ご案内

「地域の取り組みと学び直し」

松山大学は1923（大正12）年に設置された、旧制松山高等商業学校を前身とし、地域に根ざしながらも四国のリーディング・ユニバーシティとして、5学部6学科、大学院6研究科を擁する学生数約5,800人の中規模私立総合大学となり、現在に至っています。そして今年2023（令和5）年に100周年という大きな節目を迎えました。

昔も今も大学の重要な役割の一つが研究とともに人材育成であることは言うまでもありません。しかし近年において大学を取り巻く環境は大きく変わってきました。少子高齢化の進展とリカレント教育の広がりです。「人生100年時代」においては、学習が先で仕事は後ではなく、交互に、そしてときには同時並行で取り組むべきものになります。「学び直し」は適宜必要とされる知識と学習の更新作業であり、学び自体は年代を問わず、充実した人生を送るためには欠かせない要素です。

例年と同様、今年度におきましてもアカデミックな内容からカルチャー・スポーツまで、多方面から講師陣をお迎えし、新しい学びの場を提供いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

要項

開講日 2023(令和5)年9月6日(水)～10月25日(水) 全8回
 場所 松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
 時間 18:30～20:00
 定員 **120名(受講希望者多数の場合は抽選とします)**
 受講料 **3,000円**(初回講義の際にお持ちください) ※3,000円で8回の講座全てを受講できます。
 対象者 松山市内に在住又は松山市内に勤務している人で18歳以上の方(学生は除く)
 申込方法 **郵送での申し込み**

はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。

- ①講座名(「松山大学・カルスポ公開講座」とご記入ください)
- ②氏名(ふりがな) **氏名のふりがなは必ずご記入ください。**
- ③性別、生年月日(西暦表記)
 職業(a. 公務員 b. 会社員 c. 自営業 d. 主婦 e. アルバイト・パート
 f. 契約社員(派遣・臨時含む) g. 無職 h. その他) **記号のみでも可。**
- ④自宅の郵便番号・住所・電話番号(携帯電話番号でも可)
- ⑤勤務先名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号
 (⑤は松山市外在住者のみ記入してください)

HPでの申し込み



松山大学ホームページ

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/social/shogaigakushu/culspo/>

または **松山大学・カルスポ公開講座2023**

スマートフォンの方はこちらへ



申込先 〒790-8578 松山市文京町4-2 松山大学社会連携課
 申込締切 **2023(令和5)年8月20日(日)【はがき 当日消印有効】【HPでの申込 17時まで】**
 受講可否の お知らせ 受講申込者数が定員を上回った場合は、抽選となります。受講の可否については締め切り後、申込者全員に対してお知らせします。

修了証 所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。
 問合せ先 松山大学社会連携課 村井・山本
 TEL (089) 926-8246 E-mail: mu-renkei@matsuyama-u.jp

※受講料に関するお問合せ:

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 TEL(089)921-8222

※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。

プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	9月6日(水)	慶應義塾大学 総合政策学部 教授 保田 隆明	ローカルビジネスとソーシャルファイナンス インターネット、スマホ、SNSの普及、そして充実した宅配網の存在により、ビジネスのあり方、成功の方程式はガラリと形を変えつつあります。 ないものは借りる、シェアは当たり前、コスト高な東京進出はもう古い、サテライトが普通。そんな時代において、企業も行政もビジネスに対しての取り組み方をガラリと変える必要があります。 地域での変革企業の事例をもとに、これからの時代に成功する企業の発想・コツと、活動に必要な資金調達手段(ふるさと納税、クラウドファンディング、地域通貨など)について考えます。地域活動も資金調達も、成功のカギは共感力とストーリー性です。
2	9月13日(水)	株式会社ジョイ・アート 代表取締役 越智 陽一	地域からの舞台芸術の創造と発信を ～コロナからの脱却とイノベーション～ 2006年4月に「日本で唯一自主制作の作品を一年間上演する劇場」として誕生した「坊っちゃん劇場」は、今年18年目を迎えました。それは前例のない事業であり「芸術文化は産業にはなりえない」という定説との戦いでした。そんな中、今回のコロナ禍で、長期にわたる休演などにより、集客はコロナ前の70%ダウンとなりました。何とか繋いでほしいという声を背中を受け、逆境からの新たなイノベーションに挑む劇場の今をお話します。
3	9月20日(水)	株式会社愛媛FC ビジネス本部マーケティング部 プロジェクトマネージャー 田村 光平	愛媛FCで咲かせる笑顔と夢 2006年に昇格以来、18年間Jリーグの舞台で戦い続けている愛媛FC。昨今注目を集めるプロスポーツビジネス、その中でも集客等のToCマーケティングや、地域に愛されるクラブとなるために実践しているホームタウン活動など、競技面ではなく事業面での愛媛FCの取り組みについて事例を交えてお話させていただきます。そして、愛媛FCが愛媛県の皆さまと共に叶えたい想いをお伝えできましたら幸いです。
4	9月27日(水)	株式会社バンクチュアル 代表取締役 守時 健	世界と戦える町を作る！これからのふるさと納税 「何も無い街」「何やってもダメな街」と言われていた人口2万人の高知県須崎市の市役所職員として新入職員ながら、ゆるキャラ「しんじょう君」を誕生させ、2016年にゆるキャラグランプリ王者に輝きました。その後、須崎市のふるさと納税をSNS&ゆるキャラ戦略で1000倍に増やし、地域活性に貢献。現在は市役所から独立し、SNSマーケティングを使った特産品の情報発信を仕掛ける地域商社「バンクチュアル」代表を務めています。現在は松山市をはじめとする12の市町村のふるさと納税の立て直しを担当し、どこよりも実績をたたきだしています。そんな稼げる地域を作るためのノウハウを紹介します。
5	10月4日(水)	松山大学 経済学部 教授 松本 直樹	ファイナンス理論と意思決定問題 ファイナンス理論の考え方を使って、金融のみならず色々な問題を整理してみます。経系と緯系の側面をそれぞれ時間軸の問題と組合せの問題として捉えながら、地域社会の中での日常生活からちょっと高度で戦略的な意思決定問題までを議論していきます。
6	10月11日(水)	伊予市移住サポートセンター 「いよりん」 移住カウンセラー 富田 敏	伊予市移住サポートセンター「いよりん」の取り組み 今のように移住が全国的なブームになるそのちょっと前、小さな町の小さな小学校を統廃合から守ろうと地域住民が立ち上がりました。「ふるさとを愛し、楽しく学び、みんなが幸せになる」を校訓に掲げた、「まちづくり学校双海人(ふたみんちゅ)」の取り組みから、現在の伊予市移住サポートセンター「いよりん」に至る伊予市の移住定住事業の黎明と、いま抱える課題や希望についてお話します。
7	10月18日(水)	株式会社サカワ 代表取締役社長 坂和 寿忠	創業104年黒板屋さん逆転物語 1919年創業の東温市の黒板メーカーの4代目37歳です。高度成長期やベビーブームの時には好調だった黒板業界も少子化の影響を受け、現在は非常に厳しい状況です。しかし、弊社は2022年度に過去最高収益を更新し、今もなお新しい挑戦を続けており、ここ数年の取り組みや社内改革などのリアルなお話をさせていただきます。
8	10月25日(水)	Fun Space株式会社 執行役員 【ウェルピア伊予】総支配人 大野 智則	「社会貢献」と「人間の成長」が産み出す地域のつながりと活性化 ～わくわくの“わ”を広げよう！～ Fun Space株式会社は、全国に23ものさまざまな施設を運営しており愛媛県では伊予市にて、伊予市都市総合文化施設【ウェルピア伊予】と、伊予市文化交流センター【IYO夢みらい館】を、指定管理事業者として運営しております。これまでの活動と成果をご紹介しますので、今後の地域活性化につながる一助となれば幸いです。

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。